



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

January 2020

ご挨拶



一般社団法人
日本インプラント臨床研究会

会 長
田 中 讓 治

会員の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。日ごろから会へのご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は当会が、元支部長でもある相浦洲吉先生の提案で始まった関東甲信越支部学術シンポジウムの第10回という節目の記念大会の主管を受け持ち、盛会に終えることができました。そして、当会創立45周年記念大会、祝賀会を東京ミッドタウン日比谷、ザ・ペニンシュラ東京にて盛大に行なうことができましたのも、ひとえに会員の皆様方のお陰と深く感謝申し上げます。

このような中、昨年暮れに当会第2代会長で学会から最も格式が高い名誉会員証を受賞されたばかりの小嶋榮一先生が急逝されました。ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。小嶋先生は関東甲信越支部長などを歴任し、当会そして日本のインプラント界を牽引くださいました。インプラント臨床への取り組み方をはじめ、学会においては毎回貴重な発表をして下さり、私達に真のインプラントロジストのフィロソフィーを教示してくださいました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、本年2020年はオリンピックの年、そして第50回公益社団法人日本口腔インプラント学会記念学術大会(2020年9月18日~20日 パシフィコ横浜ノース)を迎えます。ご存知のように当会は日本口腔インプラント学会の創成期からその中心を担っており、その50周年という節目の大会の大会長を井汲憲治前会長が、実行委員長を私が拜命いたしまして、何とんでも成功裏に終えるよう全力を傾けて準備に取り組んでおります。第10回関東甲信越支部学術シンポジウムで成功を収めた全研修施設発表会(27施設)をさらに全国に広げた全研修施設セッション(69施設)を皮切りに、世界的に著名な特別演者およびシンポジストの岡野栄之先生、藤嶋昭先生、山口高平先生、松岡由幸先生、池野文昭先生、GBRのパイオニアDaniel Buser、CISTを提唱したNiklaus P Lang、タバネラメゾットで著名なGiorgio Tabanella、そして歯科衛生士に非常に人気の天野敦雄先生、西田互先生、歯科助手のモチベーションアップ・接遇では断トツ人気の長澤泉伸美子先生、世界にその名を知られ日本の歯科技工界を牽引した桑田正博先生をはじめ、著名な演者が集結いたします。どれも見逃せない内容ですので、是非とも多くのお知り合いの先生方にお声をかけて頂くと共に、会員の先生方はもとよりスタッフ総出で参加して頂きますようお願いいたします。そして、先生方にもう1つお願いしたいことが、一人でも多くの演題(ポスター発表)を出して頂きたいと思っております。お願いばかりで恐縮ですが、歴史に残る盛会な記念学術大会にするためには会員の皆様方のお力添えなしでは成し得ません。どうぞご支援の程、心よりお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年も会員の先生方の素晴らしい飛躍の年になりますことをお祈りいたします。